

# ボブさんコンサート

## 打楽器だけの音楽を堪能

世界的な打楽器奏者、ボブ・ベッカーさんをゲストに迎えたコンサートが22日夜、



打楽器だけのアンサンブルで聴衆を魅了したコンサート(左から2番目がボブさん)

……  
み、来場者約350人は打楽器の音楽世界を堪能した。

函館パーカッションフェスティバル実行委などの主催。打楽器アンサンブルの先駆者として知られるボブさんの函館公演は、大好評だった3年前の初公演に続いて2回目。今回は、生誕

80年の作曲家、武満徹の曲も取り入れ、マリンバ奏者の市川須磨子さんが主宰する「アンサンブル木精」の9人が共演した。

演奏会は小太鼓などでマーチングのリズムを刻む「アウエイ ウィズアウト リーヴ」で幕開け。音階がない打楽器独特の原始的な響きで聴

衆の心をつかむと、武満の合唱曲をボブさんが編曲した「見えない子ども」では、マリンバとグロッケン、ピアノなどで不協和音も織り交ぜた神秘的なハーモニーを生み出していた。

後半は、20世紀にアメリカで流行したラグタイム音楽などのステージ。ボブさんの圧倒的な技術が繰り広げられ、聴衆をうならせた。

(長内 健)